

平成 29 年度座談会「町長と語ろうまちづくり」（平山集会所）

開催日時	平成 29 年 11 月 27 日（月）午後 7 時から午後 9 時	天気 晴れ
場 所	平山集会所	
町民参加者	男 20 人 女 6 人 （40 代以下 5 人、50 代 3 人、60 代以上 18 人）	
町出席者	町長、副町長、教育長、参事兼企画政策課長、総務防災課長、商工観光課長、環境課長、定住対策課長、生涯学習課長、事務局 2 人	

出席者から出された主な意見や提案

《テーマ：空き家等の対策について》

○駅周辺の空き家が目立ってきたり、高齢の夫婦のみの家庭や独居老人が増えてきたりしているため、大きな震災等が起きた際にそのような人たちに対して、地域でどのようなことが出来るのか考えていかなければならない。駅周辺には、交流センターはあるが、地域専用の集会所が無い。空き家を町で買い上げて、用事が無くても集まれるような場所としたい。公共の施設では、いろいろな手続き等が必要になるが、それらが無いような形を考えている。また、町の方で水道代と電気代を負担してもらいたい。そのようにすれば、一人住まいの人も一日一回は話をする機会が出来ると考えている。

○福祉協議会のイベントでは、段々イベントの参加者の平均年齢が高くなってきて、以前であれば場所が河村城址でも参加者がいたが今ではない。コミュニケーションを図るにしても、建物だけの話ではないのではないか。

○空き家バンクについて、契約成立の件数が結構あることを今まで良く知らなかった。そのような良い面をもっとPRしてはどうか。

《テーマ：町政全般》

○室外スポーツをやる会場が少ない。野球はスポーツ広場を使っているが、ボールやバットの質が良くなっているためか、道路にファールボールが飛んでいく。今のところは事故が起きていないから良いが、各自チームで保険を掛けているだけで、最近車の通りも多く危険。また、スポーツ広場はマウンドが無いので、他の地域からチームを呼んでも、あまりいい顔をしない。中学校や高校で部活があったとしても、施設が悪いため、施設のいい遠くの学校に行くなどして後々人口も減ってきてしまうと考えている。

○インターナショナルスクールのように英語や中国語などの1つの言語で全科目の授業を行うことは出来るのか。そうすれば、他の自治体や学校と違い、魅力的なため若い人が来るのではない

か。

○洒水の滝の遊歩道について、出来るまではかなり時間が掛かると思うが、出来れば観光客がかなり来るなどの環境が変わると思うので、町としても観光の滝となっていくのではないかなと思う。

○和合橋は架け替えを要望しているが、洒水の滝関係の工事に架け替えとして工事の中に入っているのか。工事を行うため、今の道よりも大きい工事用の道路が出来るのか。

○山北町は自然に囲まれて魅力的だが、ホームページを見ても文章が多くて発信力が足りないと思う。檜洞などは登っているために知っているが、ユースブルーなどは最近知ったので、発信力が足りないと思う。ホームページは、文章よりも目に訴えた方が早いので、そのあたりの発信力を高めた方がいいのではないかな。

○清水や共和、三保はタクシー券が出ているという話を聞いている。平山でも瀬戸地区のほうにはタクシー券が必要ではないかなと思う。

○つぶらの公園について、時々行くがトイレが1ヶ所しかなく、水洗でもない。女性や子供も来るため、トイレが一番大事なものだと思うので、それらの整備について広げるような考えはあるのか。

○上郡で町会議員が14名から12名に減ってきているが、山北も12名にする予定はあるか。

○大型駐車場に大型バスが入ってきており、以前横断歩道を自治会で要望したがどうなっているか。T字路で交通事故も起きており、見ていて非常に危険である。大型駐車場から滝へ上がる間で横断歩道の設置をしてもらいたい。

○防災無線の高性能スピーカーに変えることで、拡声器の数を減らせることの理屈がわからない。

○防災無線のデジタル化について、個別受信器と拡声器では機能がまったく違う。外に出ている時に、屋外の拡声器が無ければ、個別受信機があっても大事な話しが聞こえてこないため、等価に考えないでもらいたい。

○町の発信力について、国際的な時代なので町のホームページを英語やスペイン語などで表記すれば市場が広がるのではないかな。